

神川っ子

NO.6

今年度も折り返し地点 後半に向かってGO！

今年度も折り返しの時期を迎えました。上田圏域の新型コロナウイルス感染警戒レベルが少しずつ引き下げられ、実施できる活動も広がってきています。

10月22日（金）には、音楽会が行われるので、歌や演奏の練習も始まっています。今年度も地域の方には来ていただくことができず、ご家庭お一人のご来場をお願いしています。今できることを積み重ねて、音楽会当日を迎えたいと思っています。

5年生 烏帽子岳登山

10月7日（木）に5年生は烏帽子岳登山に行ってきました。9月に宿泊行事として高原学習を行うはずでしたが、コロナ感染警戒レベルが高い状況だったため、時期をずらし登山のみの実施となりました。

雲がかかる場面もありましたが、徐々に晴れている時間が増え、山頂に近づくにつれ、美しい山の紅葉をはっきりと見渡すことができていきました。子どもたちは友だちと励まし合い、一步一步を積み重ね、みんなで登頂を果たしました。ボランティアとして参加してくださった保護者の方のお力添えも、本当に心強くありがたかったです。また、頂上と小学校とで鏡交信をすることもでき、心がつながったような気持ちになりました。

学年のチームワークも育ち、貴重な一日を過ごすことができました。



学校の風景

～9月中旬から10月初旬の学校の様子です～



1年：秋を探してお散歩に出かけています。たくさんの秋の宝物を見つけました。



2年：千曲川・神川に探険にいきました。お気に入りの石を拾ってアート作品を作りました。



3年：体育でティールボールを行いました。チーム一丸となって打って走って投げて楽しみました。



4年：道徳の時間はいっぱい考えて、考えを伝え合って、心を耕しています。



5年：稲穂が実り、豊かに垂れ、美しい光景が広がっていました。もうすぐ稲刈りです。



6年：夏季パラリンピック競技種目となったシッティングバレーを楽しみました。

校長講話



これは、私がちょうど1歳の誕生日に撮った写真です。私の誕生日は4月1日。エイプリルフールに生まれたので、父親が、勤めていた会社で「子どもが生まれました」と言っても、だれも信じてくれなかったそうです。

3歳の時、父親が運転する車が雪道でスリップして、交通事故にあってしまいました。その頃はまだチャイルドシートがありませんでした。助手席に一人で座っていたので、体が前に放り出され、顔が窓ガラスにぶつかって入院しました。交通事故はこわいです。みんなは事故にあわないでくださいね。

保育園に行っていたときは、お昼寝の時間に眠くなかったのでお友達とおしゃべりをしてしまって、先生に叱られたそうです。「もう、寝ないなら、外へ行って立っていなさい。」すると少年は雨が降っているのに靴を履いて外へ行ってしまい、慌てて先生が迎えに来たそうです。素直といえば素直ですが、先生は困ったでしょうね。

小学生になってからは、起きてから学校へ行くまでに時間がかかる子でした。集団登校だったので、いつも近所のお兄さんたちを待たせていたことを覚えています。先に行ってもらうこともよくありましたが、学校が歩いて10分かからないところだったので、遅刻だけはしませんでした。ぎりぎりセーフです。

もっと苦手だったのが給食です。無理して食べると吐きそうになってしまうものがいくつもありました。特に苦手だったのはこんにゃくと鳥肉の皮です。今はどちらも大好きなので、なんで苦手だったのか不思議です。

小学生の時にした失敗の中でも、トップクラスに入るのが「真夏の麦茶事件」です。私の家では、ポットに冷たい麦茶が入っていました。ある日、外で遊んでおなかが空いたさかい少年は、家に戻るとすぐに親が用意してくれてあったおやつを食べました。すると、食べた物がのどに詰まってしまう、水を飲まないと息ができません。その時、いつもの麦茶のポットが机の上にあることに気がきました。「たすかった、このままポットに口をつけて、おいしい麦茶をいただく」と飲んだその時です。口の中がとんでもなく熱くなりました。その日は、冷たい麦茶じゃなくて、お湯がポットに入っていたのです。口の中のやけどはつらいですよ。悲しい思い出です。

さかい少年は遊ぶことが大好きでした。近所には一緒に遊んでくれる同い年の子がいなかったのも、家に帰ってチャチャッと宿題をやってから学校やお宮へ遊び仲間を探しに行っていました。一番よくやったのは野球です。剣道も習っていました。小学校の時にたくさん遊んで、いろいろなスポーツをやったので、大人になって学校で体育を教えるときにも役に立ちました。

それから、3年生の時に、毎日図書館に行って、学校にある伝記の本を全部読みました。それまではそんなに本を読むのが好きではなかったのも、なんでそんなに読めたのか不思議です。自分で、「よし、図書館の伝記を全部読むぞ」と決めてからかもしれません。

私の少年時代はこんな感じでした。いろいろな失敗をしました。でも、大人になってから役に立つ経験もできました。みんなも毎日友だちとたくさん遊んだり、先生にほめられたり、叱られたりしていると思いますが、それは全部大事な勉強です。大人になって困らないように、子どもの頃にいろんな経験をしていってください。

かがわ教室より

かがわ教室は第三校舎の三階にあります。ここでは主に、学校生活に不安やつらさを抱えている子どもたちが過ごしたり、相談に来たりしています。学校の中で安心していられる場所になるように、不安な気持ちに耳を傾け、担任の先生とも相談しながら、個別に学校生活のサポートをしています。いつでも受け付けていますので、学校生活で困ったことや悲しいことがあったとき、不安や心配なことがあったときは、児童の皆さんも保護者の皆様もお気軽にご相談ください。すぐには問題が解決しなくても、お話を聴きながら一緒に問題となることを考え、気持ちを整理するお手伝いをしていきます。相談員は基本的に毎日3時間目まで勤務しています。児童の皆さんも休み時間以外に相談したい場合は、担任の先生に聞いてみてください。

心の教室相談員 村上 恭子

11月の主な予定

1日(月) なかよし月間(26日まで)
6日(土) PTA作業
9日(火) 秋の史跡公園清掃
12日(金) 全校参観日 PTA講演会
18日(木) 修学旅行1日目
19日(金) 修学旅行2日目

22日(月) 6年計画休業
25日(木) 来入児発達検査・保護者会
29日(月) 読書旬間(～12/10まで)
30日(火) 一中区人権同和教育研修会

(文責：教頭 菊池 陽子)